

瀬戸市防災ガイドマップ

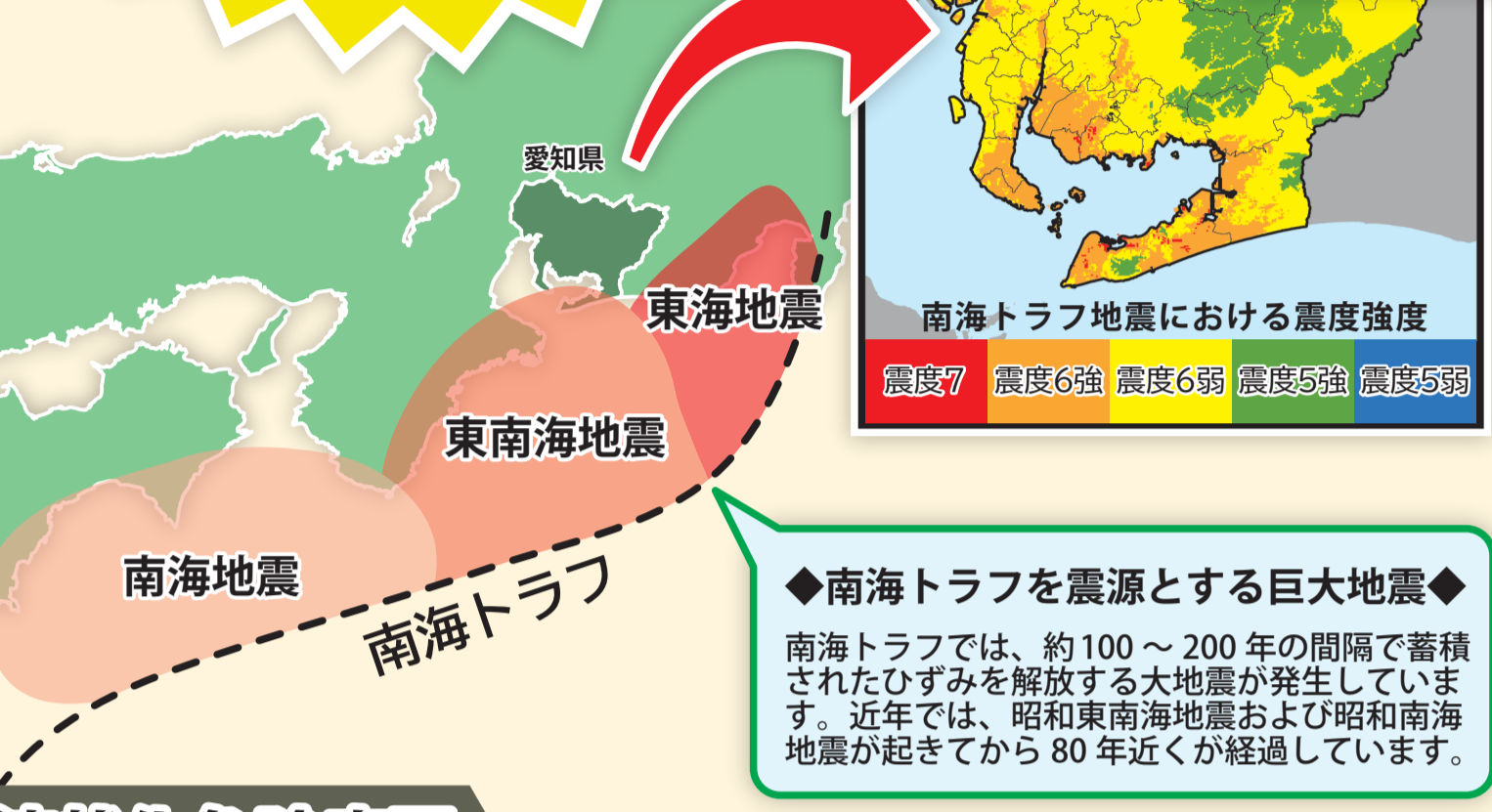
地震による建物倒壊危険度図

わが身にせまる危機…
自ら備えよう! 家族で備えよう!

建物倒壊危険度図とは? この地図は、今後30年以内にマグニチュード8~9級の地震が発生する確率が70%~80%とされる「南海トラフ地震」において想定される倒壊率(全壊または半壊する建物の割合)を50mメッシュで表現したものです。建物の倒壊率は、瀬戸市内の構造別、建築年次別の建物棟数をメッシュごとに集計した上で、愛知県が平成26年5月に公表した地震動予測結果を用いて算出しています。
なお、この建物倒壊危険度図は、色が濃い地域ほど倒壊する建物の割合が高いことを表していますが、実際は個々の建物により耐震強度が異なります。過去の大規模な地震(阪神・淡路大震災など)では耐震基準が改正された昭和56年5月以前の建物に被害が多くみられるため、危険度が小さい地域であっても十分な注意が必要です。

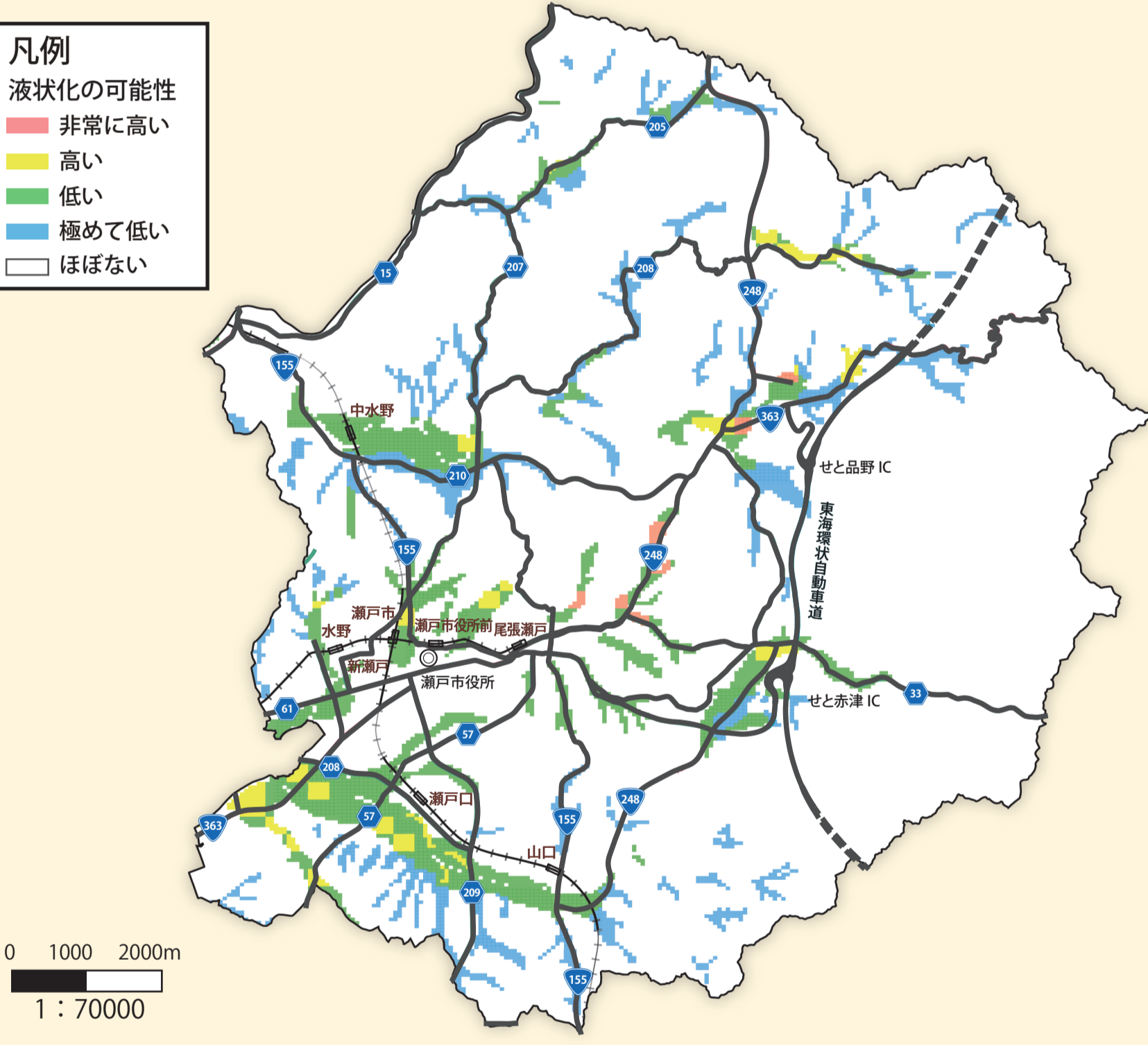
どこへ、どの道で
避難するか
決めておこう!

南海トラフの地震発生の可能性
規模: M8~M9クラス
発生確率: 30年以内に70%~80%



液状化危険度図

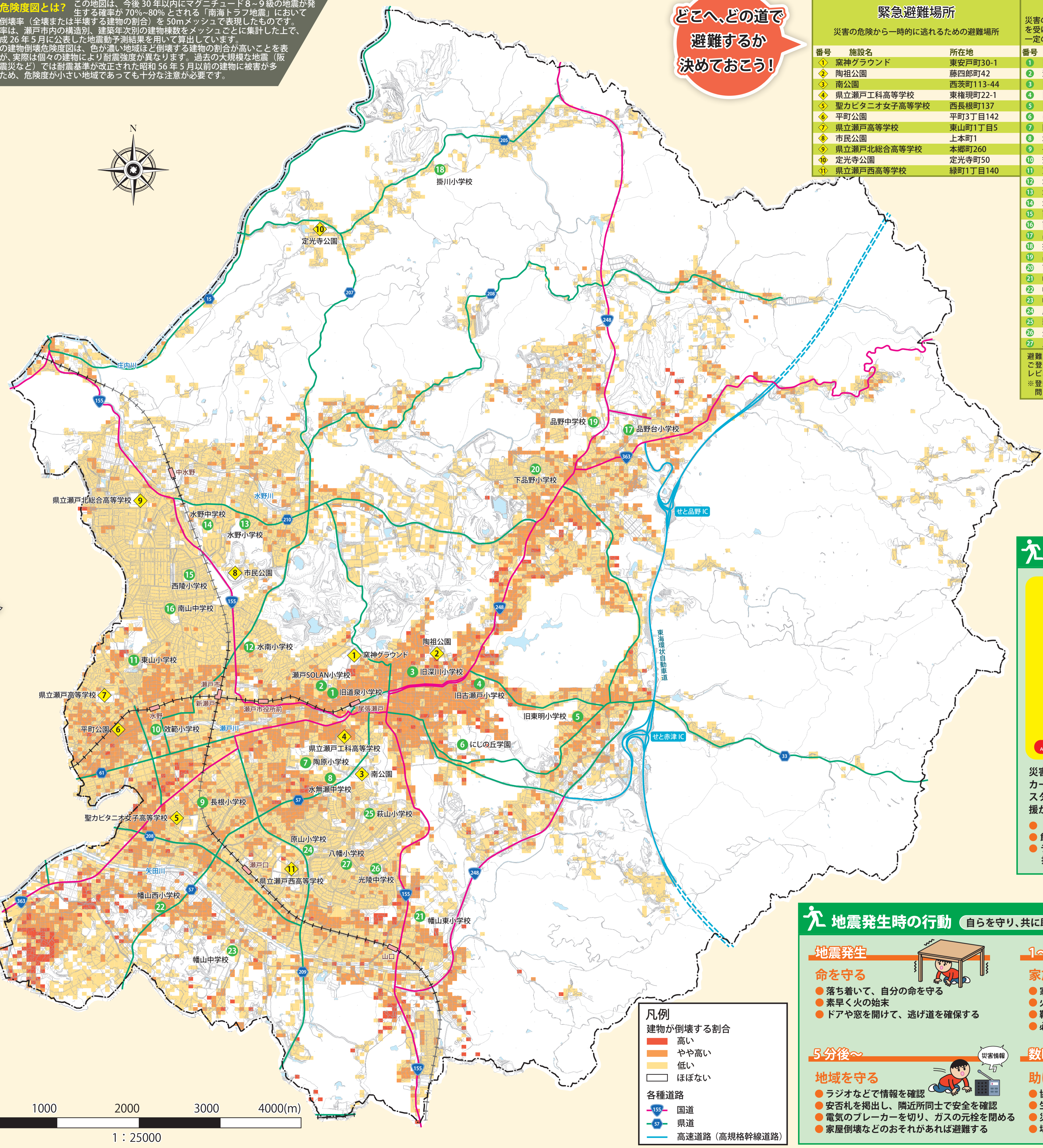
凡例
液状化の可能性
非常に高い
高い
低い
極めて低い
ほぼない



わが家の安全点検 自らを守れ! 家族を守れ!

- アンテナはしっかり固定する。
- 照明器具はしっかり固定する。
- カーテンは防火処理を施したものにす。
- 窓ガラスには、飛散防止フィルムを全面に貼る。
- 高い場所に物を置かない。
- ベットや寝る場所の近くに家具や本棚を置かない。
- 背の高い家具はL字金具や突っ張り棒でしっかりと固定する。
- ブレーカーの位置を確認する。
- ガスの元栓を確認する。
- 消火器の点検をする。
- ストーブの近くに燃えやすいものを置かない。
- テレビや水槽は低いところに置く。

民間の木造住宅について、耐震診断・改修工事に補助金を交付しています。詳しくは都市計画課まで(0561-88-2686)



凡例
建物が倒壊する割合
高い
やや高い
低い
ほぼない
各種道路
159 国道
57 県道
高規格幹線道路

地震時の緊急避難場所・避難所 (令和4年4月時点)

緊急避難場所			避難所兼緊急避難場所		
災害の危険から一時的に逃れるための避難場所			災害の危険から一時的に逃れるだけでなく、災害の被害を受けた方、または現に被害を受ける恐れがある方、一定の期間避難生活をする施設		
番号	施設名	所在地	番号	施設名	所在地
1	窯神グラウンド	東安戸町30-1	1	旧道泉小学校	道泉町44
2	陶祖公園	藤四郎町42	2	瀬戸SOLAN小学校	道泉町76-1
3	南公園	西沢町113-44	3	旧深川小学校	宮脇町53
4	県立瀬戸工科高等学校	東権現町22-1	4	旧古瀬戸小学校	古瀬戸町70
5	聖カピタニオ女子高等学校	西長根町137	5	旧東明小学校	東明町50
6	平町公園	平町3丁目142	6	にじの丘学園	中山町76-1
7	県立瀬戸高等学校	東山町1丁目5	7	陶原小学校	原山町1-3
8	市民公園	上本町1	8	水無瀬中学校	原山町1
9	県立瀬戸北総合高等学校	本郷町260	9	長根小学校	東長根町166
10	定光寺公園	定光寺町50	10	效範小学校	效範町1丁目1
11	県立瀬戸西高等学校	緑町1丁目140	11	東山小学校	東山町71
			12	水南小学校	東松山町154
			13	水野小学校	小田妻町2丁目22
			14	水野中学校	日の出町34
			15	西陵小学校	すみれ台1丁目77
			16	南山中学校	ひまわり台5丁目1
			17	品野台小学校	上品野町1234
			18	掛川小学校	下半川町592-41
			19	品野中学校	広之田町2-5
			20	下品野小学校	品野町6丁目223
			21	幡山東小学校	八幡町455
			22	幡山西小学校	幡西町203
			23	幡山中学校	幡中町106
			24	原山小学校	原山台3丁目98
			25	萩山小学校	萩山台2丁目22
			26	光陵中学校	萩山台9丁目244
			27	八幡小学校	八幡台3丁目1

避難所の開設については、瀬戸市安全安心情報メールにご登録(※登録は無料)いただくか、インターネット、テレビ、ラジオの災害情報をご確認ください。
※登録はコチラ: <https://service.sugumail.com/seto/>
問い合わせ先: 瀬戸市役所 (0561-82-7111)

徒歩帰宅支援ステーション



災害時の徒歩帰宅者に対し、このステッカーのある事業所(コンビニ、ガソリンスタンド、郵便局等)において、次の支援が受けられます。

- トイレの使用
- 飲料水(水道水)の提供
- ラジオ等のメディアを通じた災害情報の提供など

地震発生時の行動 自らを守り、共に助ける!

地震発生

命を守る

- 落ち着いて、自分の命を守る
- 素早く火の始末
- ドアや窓を開けて、逃げ道を確保する

5分後~

地域を守る

- ラジオなどで情報を確認
- 安否札を掲出し、隣近所同士で安全を確認
- 電気のブレーカーを切り、ガスの元栓を閉める
- 家屋倒壊などのおそれがあれば避難する

1~5分後

家族を守る

- 家族の安全を確認
- 火元を確認・初期消火
- 靴を履く
- 必需品を手元に用意する

数時間後~

助け合いの心で

- 協力して消火・救出活動
- 生活必需品は備蓄でまかなう
- 災害情報、被害情報の収集
- 壊れた家には入らない